

Miyazaki Bank 2014

トップメッセージ

top message



国内の経済は、一時的には物価上昇懸念等により消費マインドはやや弱まる場面が見られたものの、海外経済の持ち直しや日本銀行の量的・質的金融緩和による円安継続を背景に、景気回復に向けた動きが広がるとともに、雇用・所得環境の改善や消費税率引上げ前の駆け込み需要等により、個人消費は底堅く推移しました。また、企業の設備投資にも持ち直しの動きが見られ、全体として緩やかな回復基調が継続しています。一方、地域内経済は、公共投資の増加基調が続いたほか、消費税率引上げ前の駆け込み需要もあり、住宅投資や生産活動も増加傾向を辿り、全体としては持ち直しの動きに広がりが見られました。

Miyazaki Bank 2014

前中期経営計画「道」の最終年度であった平成25年度は、「徹底した現場力の強化」をテーマに営業支援態勢の強化などの施策に取り組んでまいりました。超低金利が想定以上に長期化したことなどから、収益性と効率性において課題を残す結果となったものの、預金残高、貸出金残高などの業量の拡大については当初計画を大きく上回る結果となり、特に貸出金については全国地方銀行64行中トップの増加率となりました。

こうした結果とこの先中長期的に展望される経営環境を踏まえ、平成26年4月からは、今後3年間の取り組みとして新しい中期経営計画「Challenge No.1」をスタートさせました。「Challenge No.1」では、「トップラインの拡大」、「生産性の追求」、「人財力の向上」の3つの基本方針により、全職員一丸となって積極果敢に挑戦し、地域リーディングバンクとして、地域と共に発展することにより、「成長力で九州No.1銀行」を実現し、高い株主価値と顧客満足の上を目指してまいります。中期経営計画のスタートを機に、お客さまのニーズに迅速かつ幅広く対応するため、「国際部」を新設し、営業統括部内に「個人ローン推進室」と「事業承継・M & A 支援室」を新設しました。加えて、「証券国際部」を「市場金融部」へ変更し、運用力強化を図る体制を整えました。今後も適時適切な施策を実施してまいります。

また、始動2年目を迎えた女子陸上部は、今春新たに3名が入部し部員7名となり、今後は個人種目だけでなくチームとして駅伝出場を目指す体制が整いました。地域の皆さまに明るいニュースが届けられるよう、日々、練習に励んでまいります。

今後とも「郷土と共にある地方銀行」として、地域経済の活性化と企業価値の向上に努め、株主の皆さまのご期待と地域の信頼にお応えすべく全力で取り組んでまいります。

皆さまには、一層のお引き立てとご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

平成26年7月

取締役頭取 小池 光一

